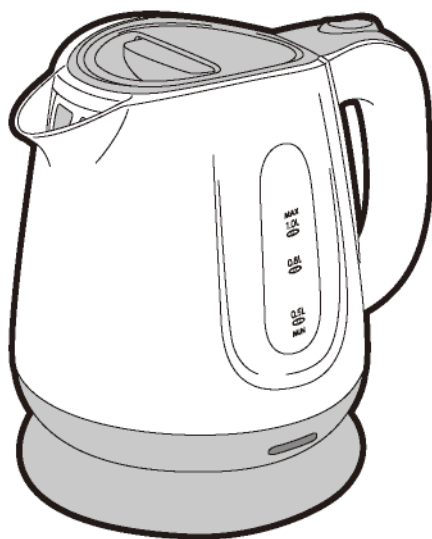


コードレス電気ケトル

品番：SDKD10LBE

取扱説明書




この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みになり、内容に従って正しくお使いください。
また、お読みになった後も本書を大切に保管してください。


もくじ

- | | | | |
|----------|-------------|---------------|-----------|
| ●安全上のご注意 | P.1~2 | ●故障かな?とおもったら | P.6 |
| ●各部名称 | P.3 | ●仕様 | P.6 |
| ●使用方法 | P.4~5 | ●アフターサービスについて | P.7 |
| ●お手入れ方法 | P.6 | ●保証書 | P.7 |

安全上のご注意

※ご使用前に必ず「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくご使用ください。

 **警告** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が損害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容を示しています。

警告

■電源 火災や感電の恐れがあります。

- ・定格15A、交流100Vのコンセントを単独で使用してください。他の機器と併用すると、発熱による火災の原因になります。また延長コードは定格15Aのものを必ず単独でお使いください。
- ・使用中や差し込みプラグ、電源コードが異常に熱くなるときは、ただちに使用を中止してください。ショートや発火する恐れがあります。
- ・濡れた手で、電源プラグの抜き差しはしないでください。感電の原因になります。



禁止



プラグを抜く



濡れた手禁止

■電源・コード／プラグ 火災や感電の恐れがあります。

- ・電源プラグのほこりなどは定期的に取り除いてください。プラグにほこりがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。プラグを乾いた布で拭いてください。
- ・電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、感電、発熱による火災の原因になります。傷んだプラグ・壊れたコンセントは使用しないでください。
- ・コード・電源プラグを破損するようなことはしないでください。傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重い物を乗せたり、束ねたりしないでください。傷んだまま使うと、感電、ショート、火災の原因になります。



禁止

■ご使用について 火災や感電の恐れがあります。

- ・改造しないでください。修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理をしないでください。発火、感電、けがの原因になります。
- ・子供や乳幼児の手の届く所では絶対に使わないでください。やけど、感電、けがをする恐れがあります。
- ・1.0ℓの目盛り以上の水を入れないでください。やけど、感電、けがをする恐れがあります。
- ・上ぶたを勢いよく開めないでください。お湯がふきこぼれ、やけどの恐れがあります。
- ・本体を転倒させないでください。お湯が流れ出てやけどの恐れがあります。
- ・本体を傾けたり、ゆすったり、ふたを持って移動したりしないでください。お湯が流れ出てやけどをすることがあります。
- ・注ぎ口をふききなどでふさがしないでください。お湯がふきこぼれて、やけどをすることがあります。
- ・本体の底部や給電スタンドを水につけたり、水に濡らしたりしないでください。ショート、感電の恐れがあります。
- ・必ず安定した場所で使用してください。また電源コードが脚で引っ掛からないようご注意ください。本体が転倒しやけどやけがをする恐れがあります。



分解禁止



禁止

安全上のご注意

注意

■電源・コード 火災や感電の恐れがあります。

・使用しない時は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります。

・電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
感電やショートして発火することがあります。



禁止



プラグを持つ

■ご使用について 火災や感電の恐れがあります。

・熱に弱い敷物の上やカーテンなどの可燃物の近くで使用しないでください。
火災の原因になります。

・熱に弱いもの(じゅうたん、畳、ビニールシート、樹脂など)の上で使用しないでください。

・ストーブやガスコンロなど熱源のそばで使わないでください。本体のプラスチック部分が熱で損傷することがあります。漏沸し中は、お湯を注がないでください。
漏が飛び散り、やけどの原因になります。

・水以外のものは沸かささないでください。故障や汚れの原因になります。

・落としたり、必要以上の強い衝撃を加えると故障の原因になります。

・給電スタンドの接点にピンや針金で触れないでください。感電の原因になります。

・本体に水が入っていないときは、電源を入れないでください。故障の原因になります。

・使用中や使用直後は本体が熱くなります。(ハンドル部分は熱くなりません)、
注ぎ口から熱い蒸気が出ますので漏沸かし中に上ぶたを開けたり、注ぎ口に触れたり、
蒸気に手を近づけたりしないでください。やけどの原因になります。



禁止

■ご使用上の注意とお願い。

・本製品は水を沸かすためのものです。水以外の物は使用しないでください。
またお茶などを煮出さないでください。

・本製品に保温機能はついていません。

・本製品は一般家庭用です。

・余分な電源コードは電源スタンド裏面のホルダーに巻きつけてください。

・お手入れ時にベンジン、シンナー、クレンザー、たわしなどを使用しないでください。

・本製品には食器洗い乾燥機や食器乾燥機を使わないでください。変型の原因となります。

・使い終わった残り湯などは必ず捨ててください。放置すると変色や腐食の恐れがあります。

・本体と電源スタンドの接触部を確実に取付けてください。

接触に不具合がある場合は電源スイッチが入らなかったり切れない場合があります。

・本体内部の水アカや汚れはこまめにお手入れをしてください。

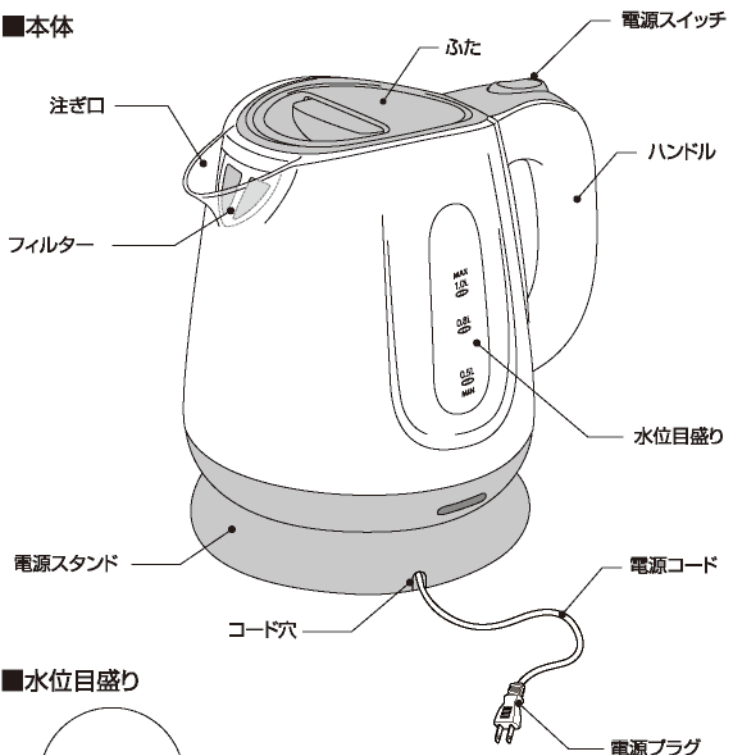
漏沸かし速度や漏沸かし時の音が大きくなる場合があります。

・長時間お使いにならない場合はお手入れ後充分に乾燥させてから保管してください。

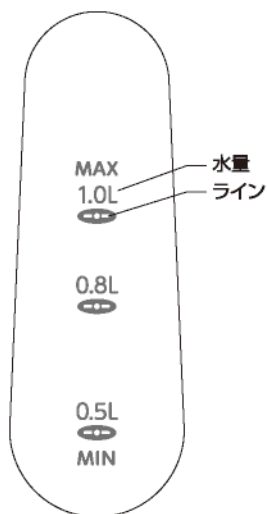
各部名称

- ・本製品はケトル本体と電源スタンドのセパレート式になっています。
- ・電源スイッチを入れないと動作しません。
- また、ケトル本体を電源スタンドからはずすと電源スイッチは自動的に切れます。
- ・空だきすると、本体内の安全装置が作動して電源スイッチが自動的に切れます。

■本体



■水位目盛り



ご注意ください

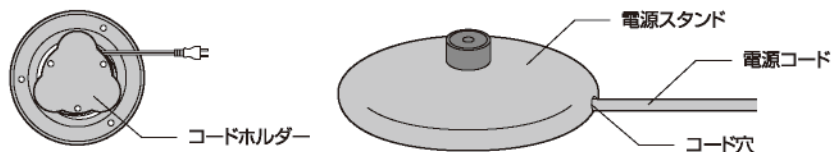
- タンクに水を入れる時は必ず0.5ℓから1.0ℓの範囲でご使用ください。
- 1.0ℓ以上の水を入れないでください。
沸騰時にお湯がこぼれてやけどをする恐れがあります。

使用方法

はじめて使用するときはケトル内部を水やぬるま湯でよくすすいでください。
また、はじめは沸騰したお湯に、においがあることがありますが使用とともに少なくなります。

1 電源スタンドを設置し、電源プラグをコンセントに差込みます。

※電源コードはコード穴を通していただく確認ください。

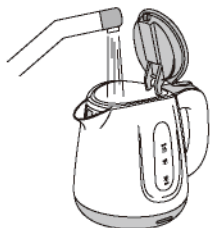


ご注意ください

- ・電源スタンドは安定した場所に設置してください。
- ・子供の手の届く場所には設置しないでください。やけどやけがの原因となります。
- ・余分なコードはコードホルダーに巻き付けてください。
- ・電源コードはコード穴を通してください。

2 ケトル本体に必要な分だけ水を入れ、ふたを閉めます。

ふたを閉める時は「カチッ」と音が鳴るまでしっかり閉めてください。



ご注意ください

- ・電源スタンドの上に本体を乗せた状態のまま水を注ぐことはしないでください。
- ・水を入れ過ぎますと、ふきこぼれる恐れがありますので、1.0ℓの目盛り以上は水を入れないでください。また水を入れないまま、空だきをしないでください。故障の原因になります。
- ・ふたがきちんと閉まっていることを確認してください。

3 ケトル本体を電源スタンドにセットして電源スイッチの「入」ボタンを押します。

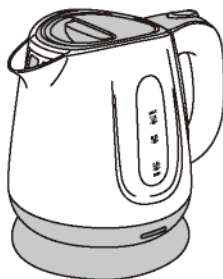
※電源スタンドの電源部にケトル本体を確実に合わせてセットします。



使用方法

4 お湯が沸くと自動的に電源が切れます。

※電源スイッチが元に戻り、電源ランプが消えます。



■沸騰の目安

(測定気温約25℃)

容量	使用時間
0.5ℓ	約3分
0.8ℓ	約6分
1.0ℓ	約7分

※水温、周囲温度、季節により前後します。

ご注意ください

- ・お湯を沸かしている最中は絶対にふたを開けないでください。
- ・本製品は保温機能はついていません。
- ・注ぎ口やふた部分から湯気が出ますのでご注意ください。

5 お湯を注ぎます。

沸騰状態がおさまってから、ハンドルをしっかりと持ってお湯を注ぎます。

※ふたがしっかり閉まっていることを確認し電源スタンドからはずして注ぎます。



ご注意ください

やけど注意(本体と高温蒸気)

沸騰中や直後は本体やふた・ハンドル部が高温になりますので取扱いにはご注意ください。

- ・注ぎ口やふた部分から蒸気が出ますのでご注意ください。
- ・沸騰状態がおさまってから、ハンドルをしっかりと持ってお湯を注ぎます。
- ・電源スイッチが「切」になっていることを確認してから注いでください。
- ・ふたを開ける必要がある場合は熱い蒸気が出ますので、やけどしないようにご注意ください。

■連続して使用する場合

数分間冷ましてから電源スイッチ「入」を押してください。

6 使用後は

長時間使用しない場合は残り湯を捨て、電源プラグをコンセントから抜き電源コードをコードホルダーに巻きつけます。

ご注意ください

・残り湯は捨ててください。放置すると内部の変色や腐食の原因となりますのでご注意ください。

お手入れ方法

■本体外側のお手入れ

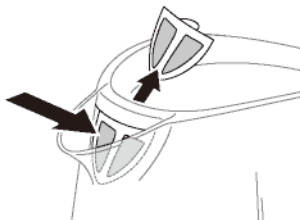
- 必ず電源プラグを抜いて、本体が冷めるのを待ってください。
- かたく絞ったふきんで拭き取ってください。汚れがひどいときは中性洗剤をつけて拭き取ってください。
- 故障の原因になりますので、ケトル本体と電源スタンドを水につけることは絶対にしないでください。
- お手入れの際シンナー・ベンジン・ガソリン・灯油・アルコールなどは使わないでください。
- 変色、変質するおそれがあります。
- みがき粉やクリームクレンザーなどを使用しますと本体に傷をつけるおそれがありますので使用しないでください。

■メッシュフィルターの洗浄

- メッシュフィルターを取りはずして、中性洗剤でやさしく洗浄した後で、水でよくすすいでください。

■フィルターの取り外し方
ケトル注ぎ口からフィルターをケトル内部に押し取り出すことができます。

■フィルター



■ケトル本体内部の洗浄方法

- ケトル本体内部の汚れは、本来水に含まれるミネラル成分の作用によるもので衛生上問題ありませんのでご安心ください。
- なお、汚れが目立ってきたら定期的にお手入れをしてください。
- 中性洗剤とスポンジで洗った後、水でよくすすいでください。その後は乾いたふきんでしっかりと拭いてください。
- 内側底部のステンレス部分は、表面が傷つきまますので強くこすらないでください。

故障かなと思ったら

修理を依頼される前に下記の項目を確認してください。

症状	原因
電源が入らない	・電源プラグがコンセントから抜けていませんか？ ・電源スタンドと本体がきちんと接続されていますか？
お湯に白いものが浮いている	・水あかが内部に付着していませんか？内部のお手入れをしてください。 ・ミネラル分が多い水やアルカリイオン水などを過熱すると、ミネラル分が結晶となり白く見えることがあります。有毒ではありません。
湯沸かし時の音が大きい	・水あかが内部や底面に付着していませんか？内部のお手入れをしてください。
お湯ににおいをを感じる	・水道水を使用した場合、カルキの臭いが残る場合があります。 気になる場合は浄水を使用される事をおすすめいたします。

仕様

電源	100V 50/60Hz	サイズ	約220(W)×150(D)×190(H)mm
消費電力	800W	重量	約0.65kg
容量	約1.0ℓ	コード長さ	約1.2m